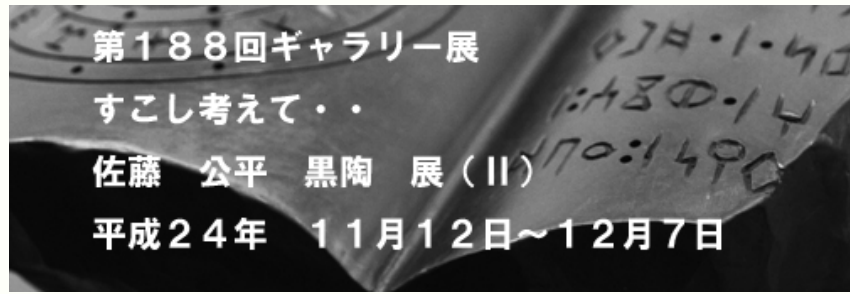


第188回ギャラリー展



【第188回ギャラリー展のご案内】

年内解散総選挙が現実のものとなってきました。ちょうど3年前のこの時期に民主党政権が誕生の期待と不安を記していたところでした。

世界的不況の中、日本も埋没しかねません。民主党政権を維持するのか新しい勢力が奪取するのかどのような政権が良いのかワイドショーに踊らされることなくここで真剣に考えてみる必要があるようです。

第188回ギャラリー展は、2回目となる佐藤公平黒陶作品4点を展示します。

黒陶作品を作られる作家は非常に少なくその中でも佐藤公平様は黒陶作品制作の第一人者で現代陶芸界において活躍されている陶芸家です。

黒陶は中国の紀元前3000年ほど前に作られた陶器で日本では縄文土器の終わり、弥生土器の始まり頃に一致します。

弥生土器に似て表面が磨かれています。煙で燻して黒く着色したように焼成されます。

作品そのものは意外なほどもろい物です。そのもろさは逆に成形のしやすさにも通じるところがあり複雑な形状の物を作製したり現代陶芸の表現手段としたりと利用されています。

今回は少ない点数ですが、少し考えながらじっくりと見ていただくと夢の空間が広がります。お楽しみください。



第188回ギャラリー展

佐藤公平 略歴

1947 秋田県矢島町生まれ

1968 神谷紀雄に師事

1987 第9回日本陶芸展「視覚闘争」で最優秀賞「秩父宮賜杯」受賞

2000 やきもの探訪に出演

2008 「視覚闘争」が京都国立近代美術館に所蔵される

現住所 新潟県新発田市真中1916 Tel 0254-41-4832